

～暮らしを支える「安心・快適」、暮らしを彩る「夢・感動」を、未来へ～

私たちが取り組む6つの重要テーマ

- 1 安全・安心の追求
- 2 豊かなまちづくり
- 3 未来へつなげる暮らしの提案
- 4 一人ひとりの活躍
- 5 環境保全の推進
- 6 ガバナンスの充実

PICK UP 重要テーマ④ 一人ひとりの活躍

従業員自らの力で、職場のコミュニケーションを活性化

阪急阪神不動産では、社内活性化プロジェクト「ハシゴ計画」を通じて、従業員がアイデアを出し合いながら、より働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

「ハシゴ計画」の目的は、職場のコミュニケーションを活性化して、イノベーションが次々と生まれる会社へと進化していくこと。「ハシゴ」には、部署や従業員の間を橋渡しするという意味が込められています。

さまざまな部署から若手を中心としたメンバーが集まり、「社内の風通しを阻害している要因」などをテーマに議論し、時にはメンバー以外の意見も取り入れながら、課題の解決に向け具体的な検討を行っています。これまでに、交流の場としても使えるリフレッシュスペースの設置、各部署の相互理解を深めるための事業紹介セミナーの実施、従業員間の交流を目的としている社内サークルへの支援など、さまざまな施策が実現しています。



リフレッシュスペースには、卓球台としても使える大きなデスクを設置



事業紹介セミナーで、会社全体や他部署への理解を促進



担当者の声

阪急阪神不動産
人事部
向原 孝樹

この取組は、若手の従業員が「当社を良くしていくために何をすべきか」をよく考え、皆で話し合い、取りまとめた施策を自分たちの力で実践していくものであり、従業員満足度の向上にもつながると考えています。今後も、毎年行っている「従業員満足度調査」の結果を活用しながら、従業員が持てる力をフルに発揮できるよう、より良い職場環境づくりを目指していきます。





代表取締役会長 グループCEO

角 和夫

代表取締役社長

杉山 健博

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

2020年度の業績について

2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、二度にわたって緊急事態宣言が発令されるなど社会経済活動が大きな制約を受けることとなりました。その結果、当社グループの2020年度連結業績につきましては、誠に遺憾ながら、営業利益は黒字を確保したものの、親会社株主に帰属する当期純利益は△367億円の損失を計上することとなりました。

2021年度を取組方針について

当社グループでは、2017年に策定した「阪急阪神ホールディングスグループ 長期ビジョン2025」の実現に向け、まずは2018～2021年度を計画期間とする中期経営計画を策定するとともに、同計画の達成を目指して、長期ビジョンの戦略に則った施策を推し進めてまいりました。その結果、新型コロナウイルスの感染発生前までは、概ね想定どおりに進捗して

おりましたが、感染拡大後は前提となっていた事業環境が大きく変わったため、計画の達成は全く不可能な状況となりました。

このことを踏まえ、2021年度については、これまでの「長期ビジョンの実現に向けた中間目標年度」という位置づけを見直し、各事業が新型コロナウイルスの影響からできる限り早期に回復すべく、全力を尽くすための「緊急回復期間」といたします。なかでも、新型コロナウイルスによる影響の大きいホテル事業につきましては、4ページに記載のとおり、抜本的な構造改革を推進してまいります。

また、これらと並行して、コロナ禍をきっかけに加速している事業環境の変化(ニューノーマル時代の到来)を見据え、それに必要な取組を各所で着実に推し進めていくことといたします。

以上の方針のもと、2021年度につきましては、多くの事業で利益の回復を見込み、営業利益は230億円となるほか、親会社株主に帰属する当期純利益も60億円の黒字を計上できる見通しです。

利益の還元について

株主の皆様への利益還元につきましては、安定的な配当を維持することとしており、2020年度の年間配当金は、前期と同水準の1株当たり50円といたしました。次期(2021年度)につきましても、同様に年間配当金は1株当たり50円(中間配当金25円、期末配当金25円)を予定しております。

長期ビジョンのアップデートについて

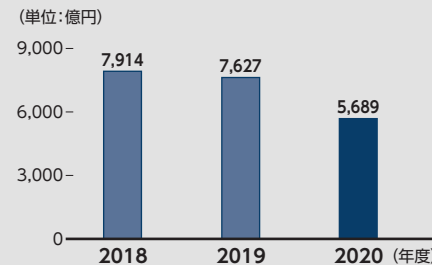
今後につきましては、ニューノーマル時代の到来やSDGs(持続可能な開発目標)への意識の高まりなど、長期ビジョンの策定以降に生じている事業環境の変化に対応するため、長期ビジョンのアップデートを行い、2022年春には、2030年頃における当社グループの絵姿を公表したいと考えております。

これからも、しばらくは厳しい事業環境が続くと思料されますが、株主の皆様のご期待にできる限り応えられるよう、グループ一丸となって取り組んでまいりますので、今後とも皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年度 連結業績ハイライト

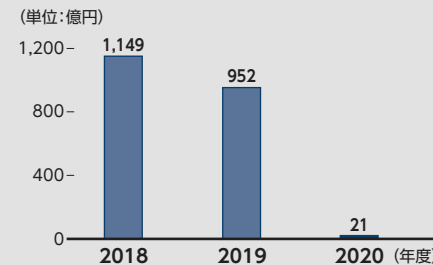
営業収益

5,689億円 (前期比25.4%減)



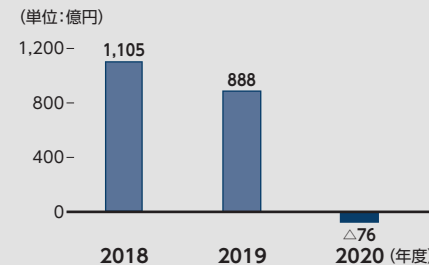
営業利益

21億円 (前期比97.8%減)



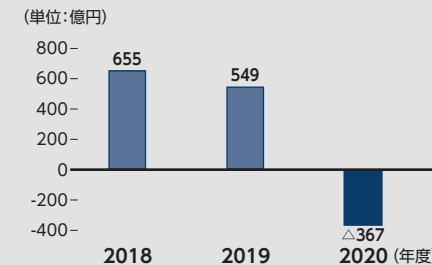
経常利益

△76億円 (前期比—)



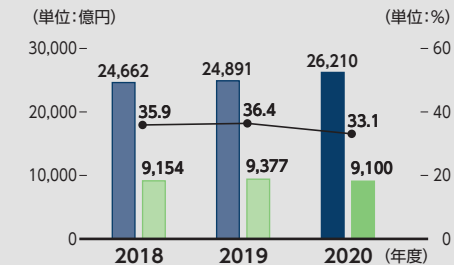
親会社株主に帰属する当期純利益

△367億円 (前期比—)



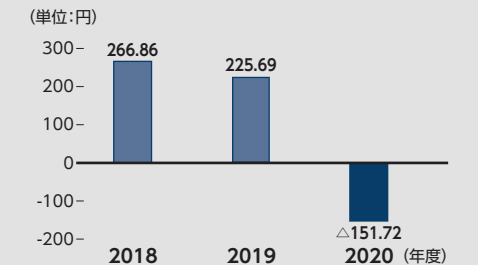
総資産・純資産・自己資本比率

■ 総資産 ■ 純資産 ◆ 自己資本比率
 総資産 2兆6,210億円 (前期末比1,319億円増)
 純資産 9,100億円 (前期末比277億円減) 自己資本比率 33.1%



1株当たり当期純利益

△151.72円 (前期末比377.41円減)



2021年度 通期業績予想

2021年度は、多くの事業で新型コロナウイルスの影響から一定の回復を見込むこと等により、2020年度比+209億円の増益となる230億円の営業利益を見込んでいます。

ただ、2020年度においては、新型コロナウイルス関連の損失(営業停止期間中の固定費や、イベントの開催中止に伴う費用等)として△194億円を特別損失に計上しており、また2021年度においても同損失を△25億円見込んでいることから、2020年度から2021年度にかけての実質的な増益額は+378億円となります。

2021年度の取組方針

① 緊急回復期間と位置づける

新型コロナウイルスの影響からできる限り早期に回復すべく、全力を尽くす

収支面

- 既存収益の回復に注力するとともに、固定費の削減・変動費化に向けた計画を速やかに策定し、これらを可能な限りスピーディーに推し進めていく
- ホテル事業では、次ページに記載のとおり、抜本的な構造改革を進めていく

投資面

- 現在進捗中の大規模プロジェクトは継続していくものの、維持更新投資を引き続き抑制することで、財務体質の悪化を最小限に留める

② ニューノーマル時代への対応を進めていく

コロナ禍をきっかけに加速している事業環境の変化(ニューノーマル時代の到来)を見据え、それに必要な取組を(デジタル技術を活用しながら)着実に推し進めていく

ニューノーマル時代には、

- コロナ禍を契機とした人々の行動変容
 - デジタル化の進展に伴うDX(デジタル・トランスフォーメーション)への取組
 - 働き方改革の本格化
 - カーボンニュートラルへの対応をはじめとするSDGsへの取組
- 等が進んでいくと想定している

(単位:億円)

	2020年度 実績	2021年度 予想	増減
営業収益	5,689	8,000	+ 2,311
営業利益	21	230	+ 209
経常利益	△ 76	160	+ 236
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 367	60	+ 427

※社会経済活動の回復状況については、2021年度中は「国内で人の往来(近場はもとより、遠方への移動も含む)が徐々に復していくとともに、フィジカル・ディスタンスの影響も次第に緩和されていく」と想定しています。

※上記の業績予想については、今後、新型コロナウイルスの感染状況やそれによる影響等を踏まえて、修正が必要となる場合には速やかに開示します。

ホテル事業の構造改革

宿泊・料飲ともに、マーケットにおける需給バランスの変化(落ち込み)にも相応に耐え得る事業構造に変革すべく、コロナ禍からの売上回復や収支改善に向けた取組に加え、不採算ホテルからの撤退と固定費の削減等を推し進める。

事業構造改革

- 今後は、収益性の見込める「宿泊主体型ホテル」と一部の厳選した「総合型ホテル」に経営資源を集中する
 - 不採算ホテルや収益性の悪化が懸念されるホテルの営業を順次終了
 - 2021年度末:第一ホテルアネックス、吉祥寺第一ホテル、レム鹿児島^{※1}、梅田OSホテル^{※2}
 - 2022年度末:第一ホテル東京シーフォート
 - 老朽化が著しく進展しているホテルの営業を順次終了
 - 2024年度末頃:大阪新阪急ホテル
 - 2025年度末頃:千里阪急ホテル

▶ なお、当社グループの重要な事業拠点である大阪梅田や千里中央エリアに立地するホテルについては、跡地の高度利用・有効活用を行うことで、両拠点の価値を向上させ、より良い街づくりに貢献すべく検討を進めていく

人事構造改革

- 拠点の見直しに伴う定員の減に加えて、業務の棚卸しによりさらなる効率化を図り、体制のスリム化を実現する。なお、在籍人員については、新規採用の抑制と自然減を通じて徐々に減少させ、定員に収れんさせていく

財務構造改革

- コロナ禍による収益性の低下に伴い、2020年度末に資産の減損を実施する

※1:2021年度末で直営ホテルから物件オーナーが運営するチェーンホテルに変更する
 ※2:阪急阪神ホテルズが運営を受託している同ホテルは、遅くとも2021年度末までに営業を終了

サステナブル経営の推進

非財務の指標として、下線の3項目を新たに設定しています。

- 鉄道事業における有責事故ゼロ(阪急電鉄・阪神電気鉄道・北大阪急行電鉄・能勢電鉄)
- 従業員満足度:継続的に前回調査を上回る(当社および中核6社^(注1)で2年に一度実施)
- 女性管理職比率:2030年度に10%程度(当社および中核6社)
- 新規採用者に占める女性比率:30%以上を継続(当社および中核6社)
- 特定保健指導^(注2)実施率:2025年度に60%以上(当社および中核6社)
- 喫煙率:2025年度に15%以下(当社・阪急電鉄・阪神電気鉄道・阪急阪神不動産)
- 男性の育児休業取得率:2025年度に100%(当社および阪急阪神不動産)
- CO₂排出量の削減率(2030年度目標2013年度比)
 - 当社および子会社の国内事業所における排出量を26%削減
 - 阪急電鉄および阪神電気鉄道の鉄道事業における電力使用に伴う排出量を40%削減

▶ なお、上記CO₂排出量の削減率の目標設定については、2050年のカーボンニュートラル(脱炭素社会)の実現に向けて、今後見直しを行う。

》神戸の中心地・三宮に相応しいランドマークとなることを目指して「神戸三宮阪急ビル」が開業

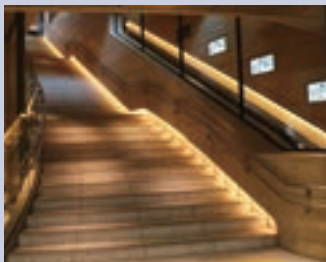
神戸市中央区において、阪急電鉄と阪急阪神不動産が推し進めてきた、神戸阪急ビル東館の建替と同ビルに直結する阪急神戸三宮駅の高架下店舗のリニューアルが完了し、4月26日に「神戸三宮阪急ビル」として開業しました。

ビルの東側の低層部には、大きなアーチ窓や円筒形のコーナー部分を配し、永らく神戸市民の皆様が親しまれてきた旧神戸阪急ビル東館のデザインのイメージを継承しています。今後も、本ビルが多くの皆様から親しまれ、地域の一層の魅力向上につながるよう努めてまいります。

神戸市営地下鉄との乗換の利便性が向上

同ビルの開業に合わせて、阪急神戸三宮駅東改札口と神戸市営地下鉄三宮駅東改札口との間にエスカレーターを増設するとともに、阪急東改札口階(2階)～地上階(1階)～地下鉄東改札口階(地下2階)を結ぶバリアフリー対応のエレベーターを新設しました。

また、阪急東改札口の構外コンコースは吹抜け部分が大きくなり、より開放的な空間に生まれ変わりました。



両改札口を結ぶ階段・エスカレーター



阪急東改札口の構外コンコース



神戸三宮阪急ビルの外観(東側から望む)

施設概要

地下2階～3階・29階

商業施設「EKIZO神戸三宮」



東西コンコースの周辺および駅高架下のエリアを中心に、計37店舗からなる商業施設「EKIZO(エキゾ)神戸三宮」がオープンしました。このうちコンコースの周辺には、仕事帰りのほか、観光やショッピングの合間にも気軽にお立ち寄りいただける物販・サービス店をラインアップしました。また、駅高架下には、飲食店を中心に個性豊かな地元内外の名店を誘致し、エキゾチックで賑わいあふれる新しい横丁街を形成しています。このほか、ビル最上階の29階に、360度パノラマの景色を楽しめるレストランが開業しました。



「EKIZO神戸三宮」という名称は、異国情緒(エキゾチック)が漂う港町神戸に位置する駅(エキ)と一体の施設であるという特性から命名しました。

4階～15階

オフィスフロア

1フロア約600㎡のオフィスが誕生。このうち15階には、神戸市が、イノベーションを創出するコミュニティスペースとして知的交流拠点「ANCHOR KOBE(アンカー神戸)」を開設しています。

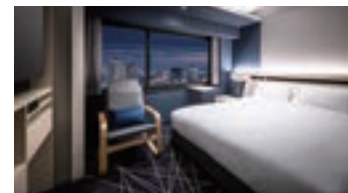
17階～28階

「レムプラス神戸三宮」

阪急阪神ホテルズが、宿泊主体型ホテル「レム」のワンランク上のブランド、「レムプラス」の2号店となる「レムプラス神戸三宮」を開業しました。神戸三宮エリアへのホテルの出店はグループ初となります。

神戸の海と山を高層階から楽しめる客室のデザインコンセプトは「remm&SKY SLEEP」。神戸の“空に浮かぶ寝室”として、上質な眠りと心地よい目覚めの空間を提供します。

客室のカラースキーム



midnight BLUE(夜景×港町)



sunrise EARTH(目覚め×六甲山)



KOBE CLASSIC(寝室×港町の情緒)

客室タイプ

ダブル	165室
ツイン	41室
ユニバーサル	3室
合計	209室

》 阪急京都線の高架下プロジェクト「^{トート}TauT阪急洛西口」が全体開業

阪急電鉄が京都市と連携しながら開発を進めてきた「TauT阪急洛西口」が、2月に全体開業しました。阪急京都線洛西口駅付近の高架化によって生み出された約1kmにわたる高架下空間に、京都で人気の飲食店や物販店のほか、シェアオフィスやシェアショップ、スポーツや音楽・文化活動に係る教室などが軒を連ねています。



TauT阪急洛西口の外観

本プロジェクトは、高架下の開発に合わせて、地域と協働して街の魅力を高めていくという取組であり、人工芝やウッドデッキなどを設けたオープンスペースでは、地域の方々と連携を図りながらマルシェやイベントを開催。今後もさまざまな活動に取り組みながら、継続して賑わいのある施設となるよう努めてまいります。



オープンスペース

》 日本最大級のアスレチック「六甲山アスレチックパーク^{グリーンニア}GREENIA」が開業

六甲山観光が運営する六甲山カンツリーハウスは、六甲山フィールド・アスレチックおよびフォレストアドベンチャー・神戸六甲山と統合し、一つの新たなアスレチック施設「六甲山アスレチックパークGREENIA」として4月3日にオープンしました。

GREENIAのテーマは「山、空、水辺。すべてが舞台の冒険王国」。約23万㎡（甲子園球場約6個分）の広大なフィールドに、陸上・空中・水上とさまざまな種類のアスレチック（計164ポイント）があり、大人の方から小さなお子様まで、幅広い世代の方がそれぞれの体力に合わせてお楽しみいただけます。



新設した80ポイントのアスレチックは、人気アニメクリエイターである「フィッシャーズ」が監修

》 サテライトオフィス事業「^{オンズ}阪急阪神 ONS powered by ^{ポイントゼロ}point 0」を展開

阪急阪神不動産は、オフィス賃貸事業の新たなメニューとしてサテライトオフィス事業を開始することとし、4月14日に、その第1号拠点となる「阪急阪神 ONS 千里中央」を開業しました。

本オフィスは、「安心・快適に集中できる個室空間」をコンセプトとしており、オフィスワーカーにメインオフィスや自宅以外の場で働くことができる環境を提供しています。また、施設運営を担う株式会社point 0には多くの企業が参画していますが、各企業の持つ技術やノウハウを組み合わせることにより、安全・安心な空気環境やハイレベルなセキュリティ、快適な室内環境を提供できることが本オフィスの特徴です。

今後は、神戸三宮エリアや京都河原町エリアでも開設を予定しており、新たなワークスタイルの実現を通じて、沿線の皆様の生活をサポートしてまいります。



阪急阪神 ONS 千里中央

》 オンラインでの展示会を「デジタル甲子園」にて開催



来場者アバターの目線のイメージ



来場者の操作中の様子

当社グループは、3月に、阪神甲子園球場をデジタル空間上に忠実に再現した3Dの「デジタル甲子園」において、Withコロナをテーマにオンラインでの展示会を開催しました。

本展示会には、発熱を検知するカメラや非接触のキャッシュレス決済システムなど、Withコロナに係る商材やサービスを取り扱う企業・団体（計93社）が出展し、出展者と来場者は、オンラインゲームのようにアバター（自分の分身となるキャラクター）を通じて展示会に参加。映像や資料の閲覧に加えて、双方向の音声通話も可能で、実際の展示会に近い形で商談が行われました。

今後も、こうしたデジタル技術を活用しながら、デジタル空間でのビジネス展開に積極的に取り組んでまいります。

株主優待のご案内

3月末、9月末時点で100株以上ご所有の株主の皆様へ、以下のとおり、株主優待回数乗車証(阪急・阪神共通回数カード)や株主優待乗車証(全線パス)、グループ各社でご利用いただけるグループ優待券(1冊)をお送りしております。

株主優待回数乗車証および株主優待乗車証

(2021年6月現在)

優待基準株数	優待内容	株主優待回数乗車証 (阪急・阪神共通回数カード)	株主優待乗車証 (全線パス)
100～199		2回カード×1枚 (2回乗車分)	—
200～479		4回カード×1枚 (4回乗車分)	—
480～999		4回カード×3枚 (12回乗車分)	—
1,000～1,999		25回カード×1枚 (25回乗車分)	—
2,000～6,199		30回カード×2枚 (60回乗車分)	—
6,200～9,799 ※ ①②のいずれかを選択		① 30回カード×2枚 (60回乗車分)	—
		② 10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪神電車全線パス1枚
9,800～15,999 ※ ①②のいずれかを選択		① 10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪急電車全線パス1枚
		② 10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪神電車全線パス1枚
16,000～199,999		10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪急電車全線パス1枚 + 阪神電車全線パス1枚
20万以上		10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪急電車全線パス10枚 + 阪神電車全線パス10枚

株主優待回数乗車証 (阪急・阪神共通回数カード)



共通回数カードの適用区間：阪急電車線及び阪神電車線全線
(いずれも神戸高速線を除く)

株主優待乗車証 (全線パス)



・阪急電車全線パスの適用区間：阪急電車線全線
(神戸高速線を除く)
・阪神電車全線パスの適用区間：阪神電車線全線
(神戸高速線を除く)

詳しいご利用方法等につきましては、株主優待と
ともにお送りしているご利用案内をご覧ください。

グループ優待券

主な内容

<p>沖縄県 石垣島</p>	<p>自然体感展望台 六甲枝垂れ</p>	<p>レムプラス銀座</p>	<p>宝塚歌劇の殿堂</p>	

※グループ優待券のご利用範囲については券面をご参照下さい。なお、ご優待内容や対象施設については、予告なく変更する場合がございますので、ご了承下さい。

送付時期・有効期限

株主優待については、9月30日、3月31日の株主名簿に基づき、それぞれ11月下旬、5月下旬に発送します。
有効期間については、「阪急・阪神共通回数カード」は1年間、その他の優待は半年間です(施設により異なる場合もあります)。

第183回定時株主総会に関するご報告

2021年6月16日開催の当社第183回定時株主総会において、下記の事項のとおり報告し、また決議(原案どおり承認可決)されました。

報告事項	1. 第183期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)事業報告、連結計算書類及び計算書類の内容報告の件 2. 会計監査人及び監査等委員会の第183期連結計算書類監査結果報告の件
決議事項	第1号議案 剰余金処分の件 期末配当金は1株につき25円と決定しました。 ※なお、中間配当金として1株につき25円をお支払いしておりますので、年間配当金は1株につき50円となります。 第2号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。)8名選任の件 候補者8名全員が選任され、それぞれ就任いたしました。 第3号議案 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件 候補者1名が選任されました。

決議内容の詳細情報は、当社ホームページに掲載しております。

<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/ir/stock/meetings.html>

株主メモ

決算期

3月31日

定時株主総会

6月

基準日

定時株主総会

権利行使株主確定日 3月31日

期末配当金受領株主確定日 3月31日

中間配当金受領株主確定日 9月30日

単元株式数

100株

株式のお手続きに関するお問い合わせ先

手続きの内容	株式口座の開設先	証券会社	特別口座(※1)
マイナンバーのお届出(※2)		口座開設先の証券会社	三菱UFJ信託銀行株式会社(口座管理機関) 大阪証券代行部 TEL.0120-094-777 (通話料無料)
住所変更、単元未満株式買取請求・買増請求などの各種お手続き			
特別口座から証券会社の口座への振替請求		—	

※1 2009年1月5日の株券電子化時に、株券をお手元に保管されていた株主様の株式(登録株を含む)につきましては、特別口座で管理されています。
特別口座で管理されている株式につきましては、一般口座にお振替いただくことができません。三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部までお問い合わせ下さい。

※2 2015年10月以降、市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きが必要となるため、株主様から、株式口座開設先の証券会社などへマイナンバーをお届出いただく必要があります。マイナンバーのお届出の詳細につきましては、株式口座開設先の証券会社などまでお問い合わせ下さい。